

7.従来の評価方法

※再掲(R6年度第1回資料)

・各検診の全対象年齢について①検診方法（集団・個別）別、②性別、③受診歴（初回・非初回）別に各プロセス指標を集計、報告書に示された基準値を基に、①と集団個別計の値を評価。

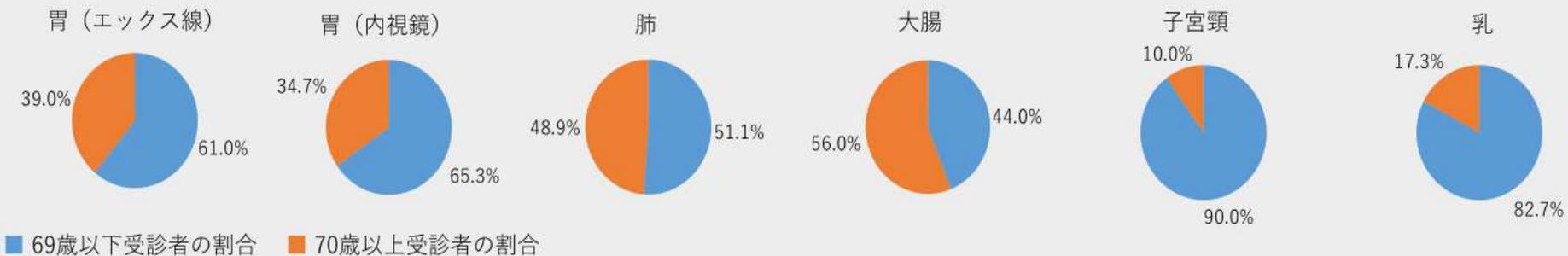
8.今後の方向性~評価対象年齢について~（令和6年度以降）

評価対象年齢は以下のとおりとする。

- ①区市町村・都民向けの公表資料に関しては、
特にがん検診の受診を推奨されている各がん検診対象年齢～69歳の値で集計し、69歳以下の基準値をもとに評価を行う。
【理由】
 - ・国指針は69歳以下の検診対象者の受診を特に推奨しており、当該年齢層のプロセス指標を重視した精度管理を実施していくため。
 - ・国の現行計画（がん対策推進基本計画（令和5年3月））における受診率・精検受診率の算出は、検診対象年齢～69歳の受診者を前提としており、国計画に沿った評価ができる。
- ②今後3年間（令和6～8年度）は引き続き検診対象年齢～全年齢でも評価を行い、区市町村の支援に活用する。※集計は令和8年度以降も継続
【理由】
 - ・過年度の東京都がん検診精度管理評価事業結果と比較するため。
 - ・都内における70歳以上の受診者は一定の割合を占めており、70歳以上の受診者に対して実施された検診についても精度管理が必要であるため。なお、令和8年度以降も特に高齢者の受診割合が高い地域などでは区市町村訪問の際に活用する。
 ※都内における受診者の年齢構成は以下のとおり

令和3年度がん検診における都内受診者の年齢構成

令和5年度東京都がん検診精度管理評価事業より



⇒R6年度第1回がん部会で決まったとおり、
スライド2～5について、検診対象年齢～69歳以下で
スライド6以降については、検診対象年齢～全年齢で評価する。

令和6年度 東京都がん検診精度管理評価事業調査結果【プロセス指標】

1 プロセス指標の状況（東京都・69歳以下）

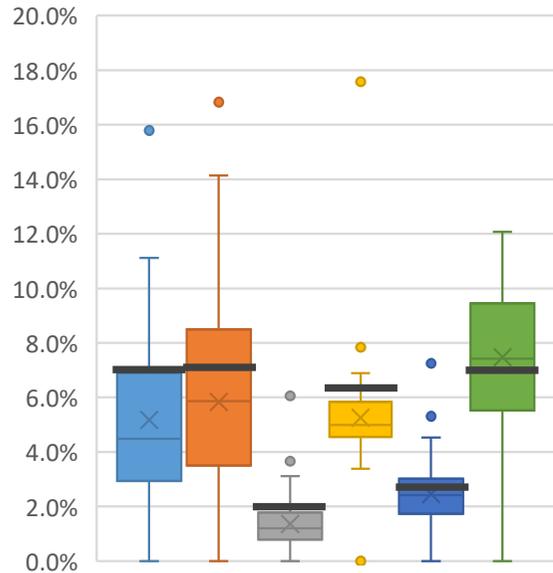
- ・基準値（69歳以下）を満たしていないものは赤字で表示している。
- ・要精検率、陽性反応適中度、がん発見率は半数のがん種で基準値を満たしているが、精検受診率で基準値を満たしているのは、胃内視鏡のみとなっている。

プロセス指標	実施年度	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
		X線	内視鏡				
受診率	R5年度	13.6%		8.8%	13.4%	25.3%	27.0%
要精検率	R4年度	6.1%	5.8%	1.6%	5.2%	2.9%	7.7%
	基準値	7.0%以下	7.1%以下	2.0%以下	6.2%以下	2.7%以下	6.8%以下
精検受診率	R4年度	64.8%	96.8%	74.3%	62.2%	78.0%	88.1%
	基準値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
精検未受診率	R4年度	5.7%	0.6%	3.7%	11.1%	4.5%	2.5%
精検未把握率	R4年度	29.5%	2.6%	22.0%	26.7%	17.5%	9.4%
陽性反応適中度*	R4年度	0.4%	2.6%	1.4%	2.6%	5.7%	5.1%
	基準値	1.1%以上	1.9%以上	1.6%以上	2.6%以上	5.9%以上	4.3%以上
がん発見率*	R4年度	0.03%	0.15%	0.02%	0.13%	0.17%	0.39%
	基準値	0.08%以上	0.13%以上	0.03%以上	0.16%以上	0.16%以上	0.29%以上

*子宮頸がん検診はCIN3以上の発見率又は陽性反応適中度

2 プロセス指標の分布状況（区市町村・69歳以下）

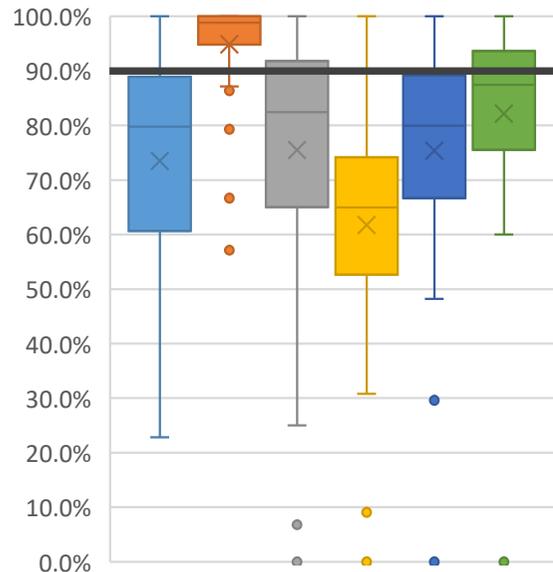
要精検率



	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
	X線	内視鏡				
基準値より高い自治体数	13	14	11	10	23	38
基準値（以下）	7.0%	7.1%	2.0%	6.2%	2.7%	6.8%
基準値以下の自治体数	40	26	49	52	38	21

- 乳がんを除き、全体的に基準値を満たしている自治体の割合が高い。
- 肺がん、大腸がん、子宮頸がんについては、四分位範囲の集団が他のがん種に比べて密集しておりバラつきが少ない。

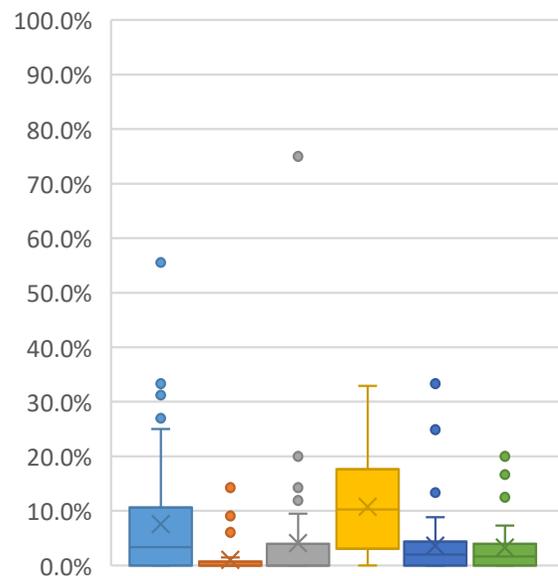
精検受診率



	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
	X線	内視鏡				
基準値以上の自治体数	9	30	15	2	12	23
基準値（以上）	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
基準値より小さい自治体数	43	5	39	58	46	35

- 胃がん(内視鏡)については、全体の85%以上が基準値を満たしている。
- 大腸がんについては、集団全体が基準値から大きく離れており、満たしている自治体の割合は約3%である。

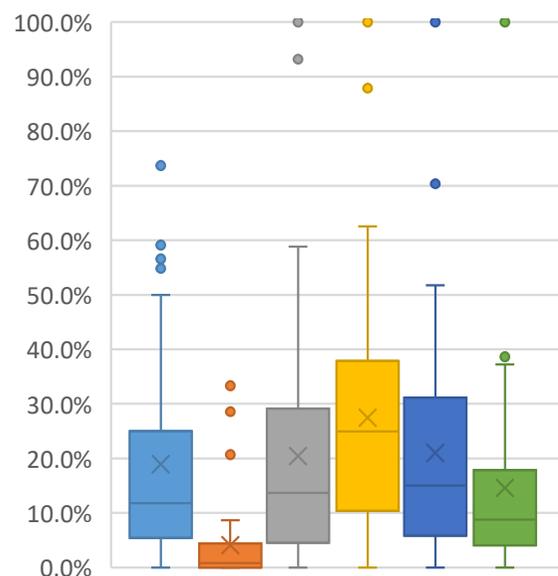
精検未受診率



	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
	X線	内視鏡				
0%より大きい自治体数	32	10	25	51	35	41
0%の自治体数	20	25	29	9	23	17

- 他のがん種に比べ、大腸がんが全体的に値が高い傾向にある。
- 精検未把握率のグラフと比べると、全体的に値が低い傾向にあり、未受診率よりも未把握率に課題があることがわかる。

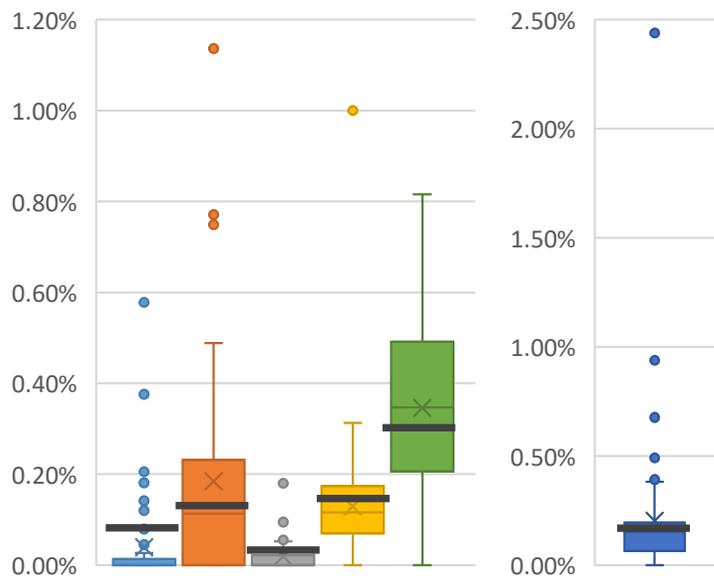
精検未把握率



	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
	X線	内視鏡				
0%より大きい自治体数	42	18	44	55	52	55
0%の自治体数	10	17	10	5	6	3

- 胃がん(内視鏡)及び乳がんについては、集団全体が比較的低い値となっている。
- その他のがん種については、全体的に値が高く、バラつきが比較的大きい傾向にある。

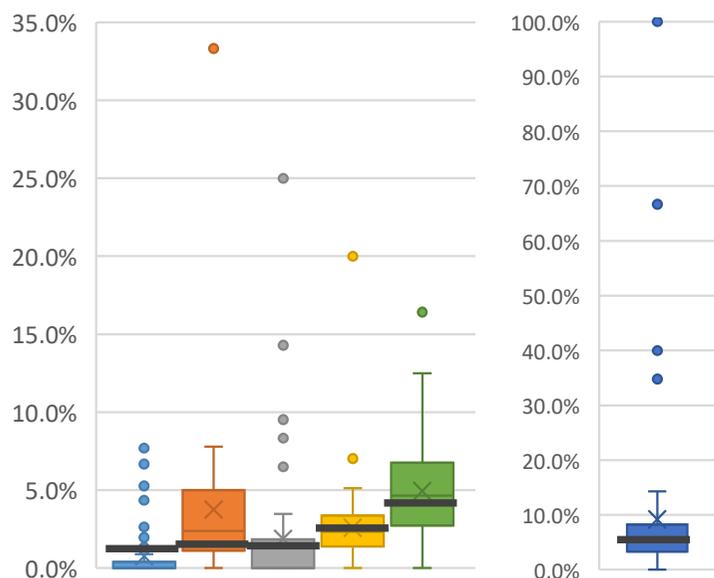
がん発見率



	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
	X線	内視鏡				
基準値以上の自治体数	8	19	14	18	29	34
基準値 (以上)	0.08%	0.13%	0.03%	0.16%	0.16%	0.29%
基準値より低い自治体数	45	21	46	44	24	24

- 胃がん(X線)・肺がんについては、四分位範囲(全体の75%)が基準値を下回っている。
- 乳がんについては、全体の半数以上が基準値を満たしている。

陽性反応適中度



	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
	X線	内視鏡				
基準値以上の自治体数	8	19	15	26	27	32
基準値 (以上)	1.1%	1.9%	1.6%	2.6%	5.9%	4.3%
基準値より低い自治体数	44	16	39	34	31	26

- 胃がん(X線)については、四分位範囲(全体の75%)が基準値を下回っている。
- 胃がん(内視鏡)・乳がんについては、全体の半数以上が基準値を満たしている。

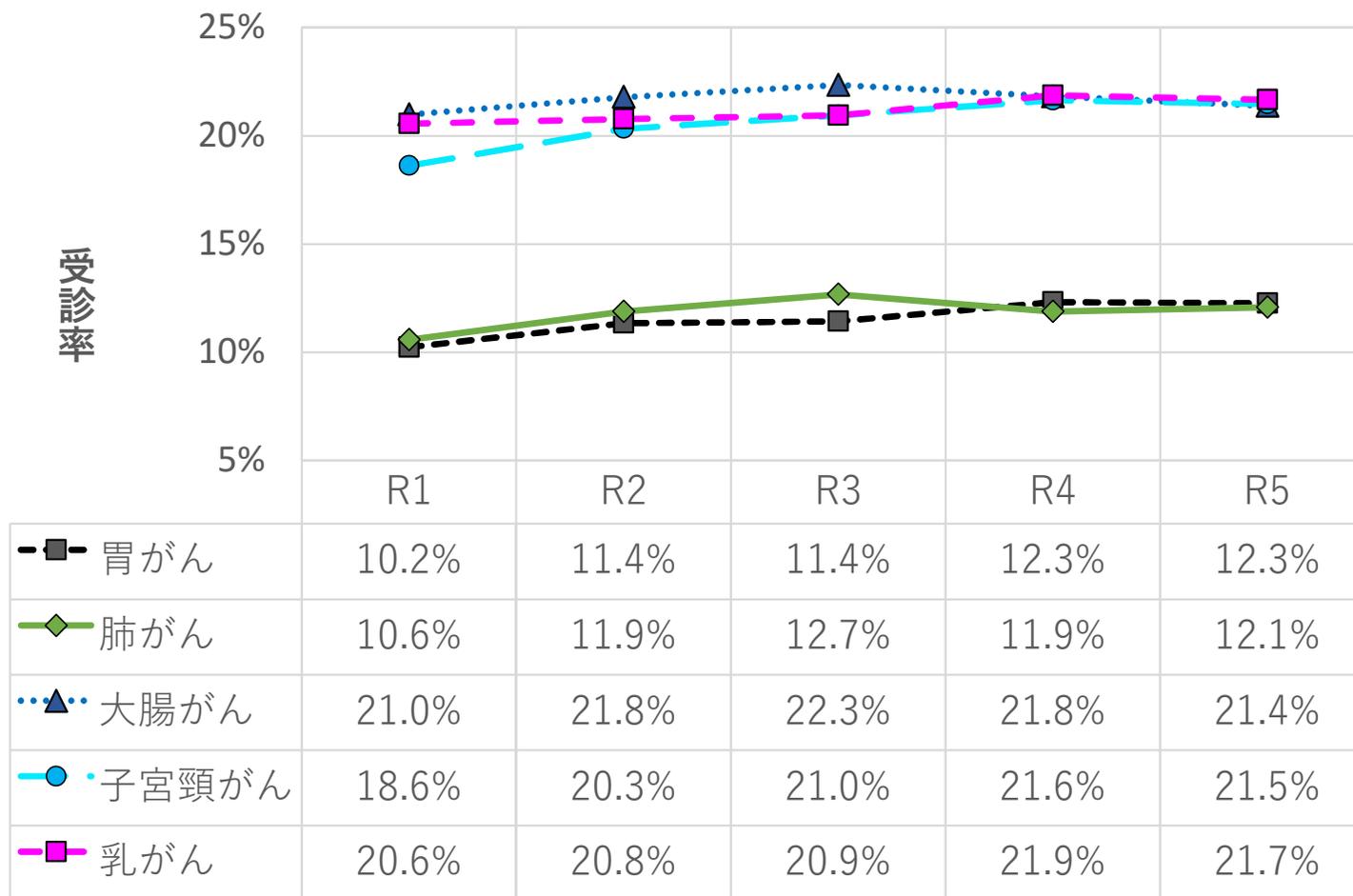
3 プロセス指標の状況（東京都・全年齢）

- ・がん検診種別ごとに、国指針に示す検診方法に沿った実施分について集計、太字が最新値
- ・精検受診率 + 精検未受診率 + 精検未把握率 = 100%
- ・受診率は令和4年度、精検受診率は令和3年度と比較して改善した最新値を赤枠で表示

プロセス指標	実施年度 (降順)	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
		X線	内視鏡				
受診率	R5年度		12.3%	12.1%	21.4%	21.5%	21.7%
	R4年度		12.3%	11.9%	21.8%	21.6%	21.9%
	R3年度		11.4%	12.7%	22.3%	21.0%	20.9%
要精検率	R4年度	7.0%	6.8%	2.2%	6.9%	2.7%	7.4%
	R3年度	7.5%	7.0%	2.2%	7.2%	2.4%	7.7%
	R2年度	7.8%	8.0%	2.4%	7.8%	2.7%	7.9%
精検受診率	R4年度	69.8%	96.8%	74.6%	58.9%	78.1%	88.7%
	R3年度	71.6%	90.3%	72.1%	58.4%	76.4%	88.0%
	R2年度	71.8%	83.7%	69.3%	57.5%	76.6%	87.1%
精検未受診率	R4年度	5.9%	0.7%	4.5%	15.5%	4.6%	2.4%
	R3年度	6.2%	0.7%	4.5%	16.3%	4.1%	1.9%
	R2年度	7.1%	0.6%	4.9%	17.1%	4.0%	2.1%
精検未把握率	R4年度	24.4%	2.5%	20.9%	25.6%	17.4%	9.0%
	R3年度	22.2%	8.9%	23.4%	25.3%	19.5%	10.1%
	R2年度	21.1%	15.7%	25.8%	25.4%	19.4%	10.8%
陽性反応適中度	R4年度	1.1%	3.8%	2.3%	3.3%	1.1%	6.2%
	R3年度	1.3%	3.9%	2.2%	3.3%	0.9%	5.4%
	R2年度	1.3%	4.2%	1.9%	3.0%	0.8%	5.0%
がん発見率	R4年度	0.07%	0.26%	0.05%	0.23%	0.03%	0.46%
	R3年度	0.10%	0.28%	0.05%	0.24%	0.02%	0.42%
	R2年度	0.10%	0.34%	0.04%	0.24%	0.02%	0.39%

4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

（1）受診率



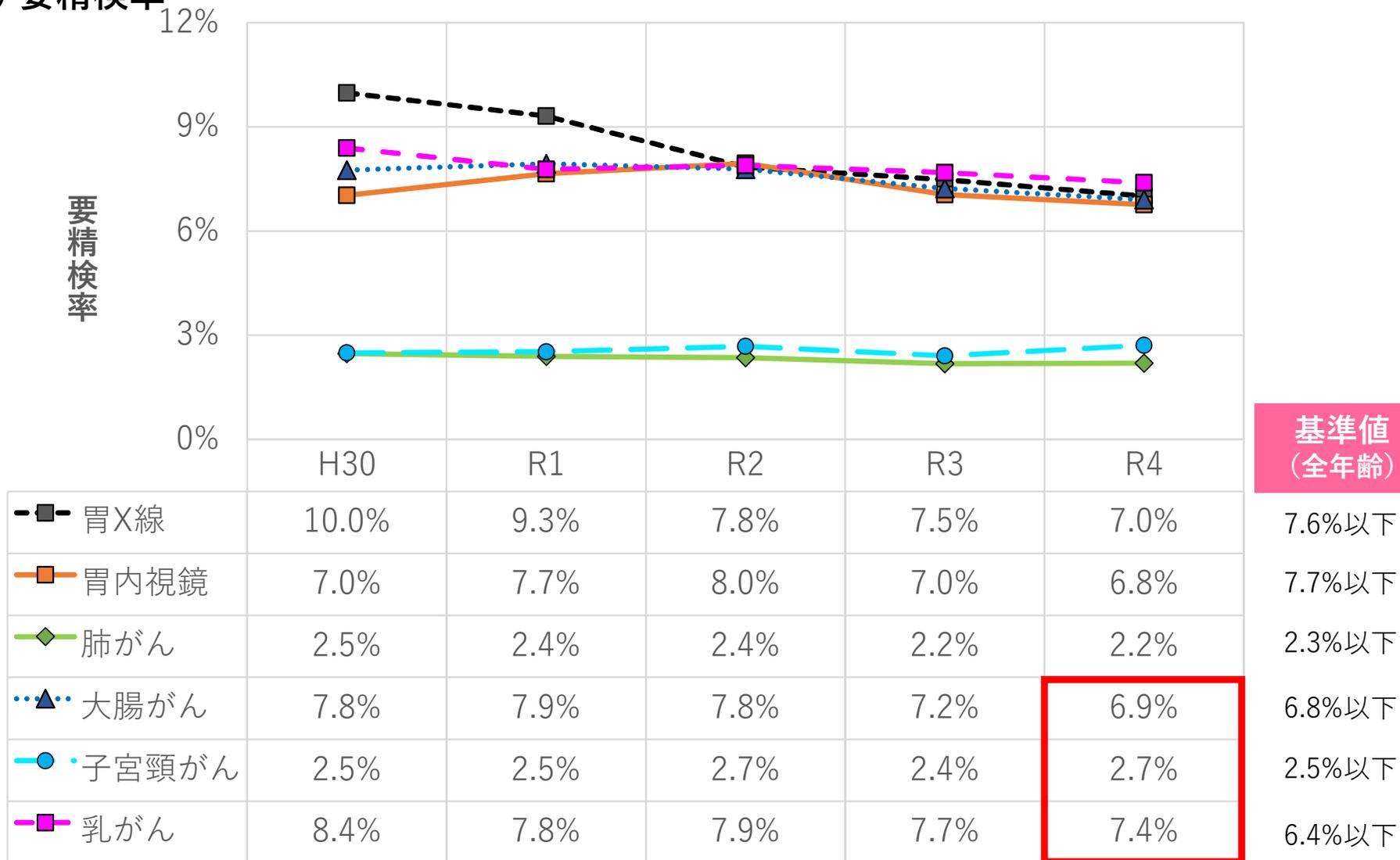
※胃部X線検査・胃内視鏡検査は「胃がん検診」として表示

※令和2年度から受診率算出に使用する対象人口率（5年に一度改定）を変更しているため、令和元年度と令和2年度以降とは一概に比較ができない。

- 胃がん検診は上昇傾向、肺がん検診は横ばいで推移している。
- 胃・肺がん検診以外の受診率は令和4年度と比較して令和5年度で若干減少したが、長期的にみると大腸がん検診の受診率は横ばい、子宮頸・乳がん検診の受診率は上昇傾向で推移している。

4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

(2) 要精検率



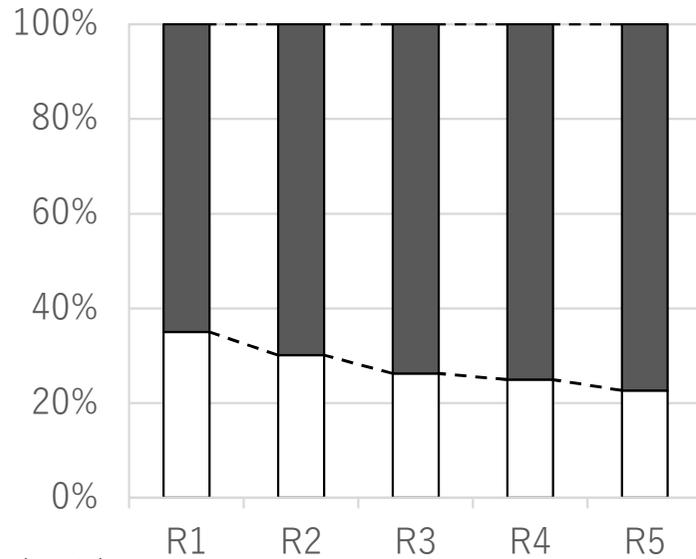
- 今回から評価指標を許容値から基準値（「がん検診事業のあり方について 令和6年7月 がん検診のあり方に関する検討会」より）としている。
- 令和4年度は胃X線・胃内視鏡・肺がん検診の要精検率は基準値以下となったが、大腸・子宮頸・乳がん検診は基準値を上回っている。
- 肺・子宮頸がん検診の要精検率は概ね横ばいで推移している。

4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

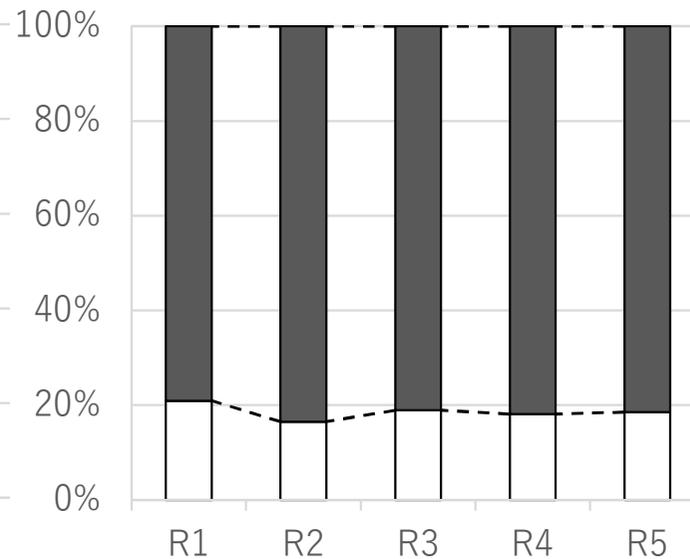
（3）検診方法別 受診者割合

□ 集団検診 ■ 個別検診

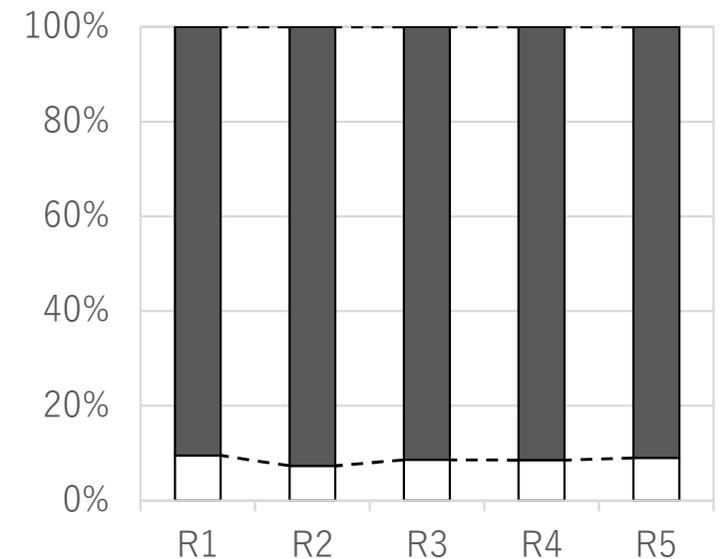
胃がん検診（胃X線+胃内視鏡）



肺がん検診



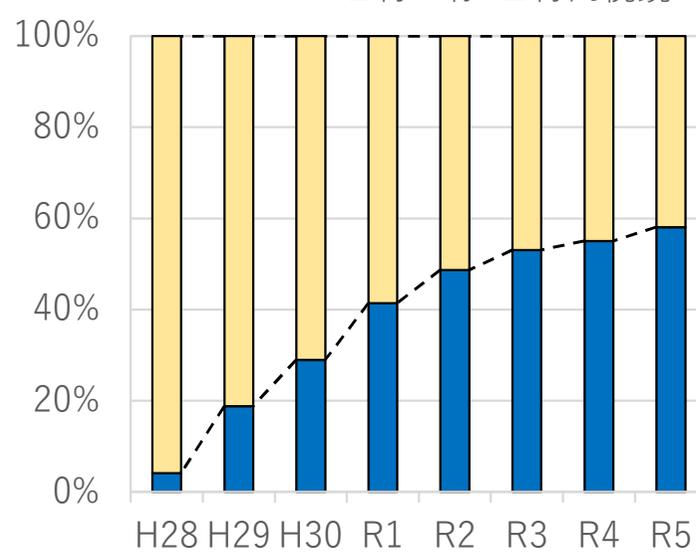
大腸がん検診



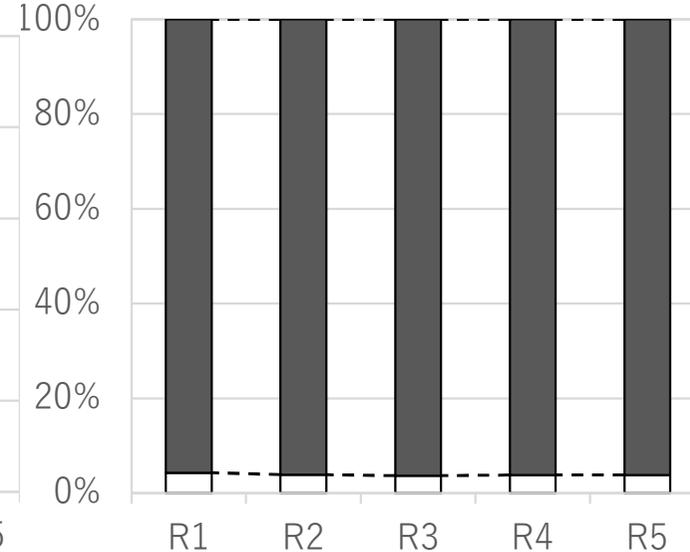
（参考）

胃がん検診

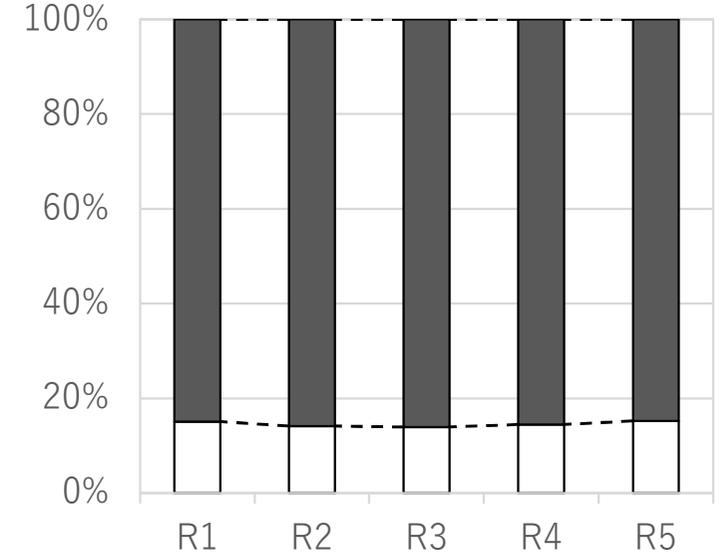
□ 胃X線 ■ 胃内視鏡



子宮頸がん検診



乳がん検診

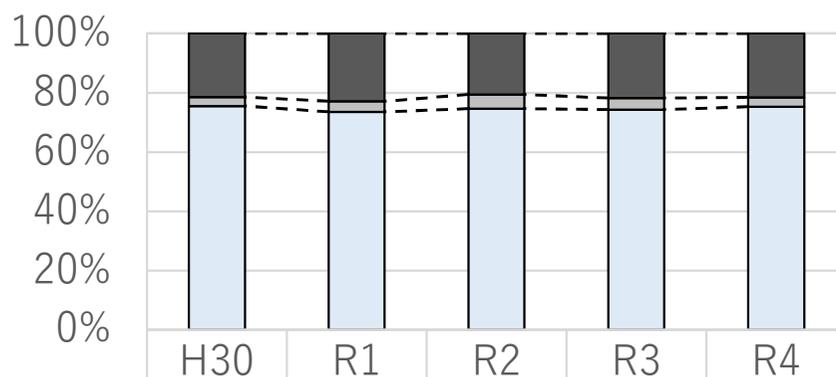


- ・ 集団検診よりも個別検診の受診者割合が大きい。
- ・ 胃内視鏡検査受診者割合の増加に伴い、胃がん検診における個別検診の受診者割合が増加している。

4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

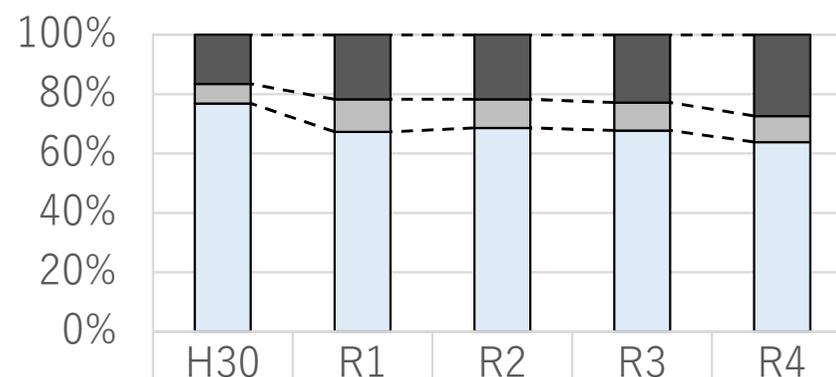
（4）精検受診率・精検未受診率・精検未把握率 胃がん検診（X線検査）

集団検診 令和4年度 要精検者数 3,416人 (51%)



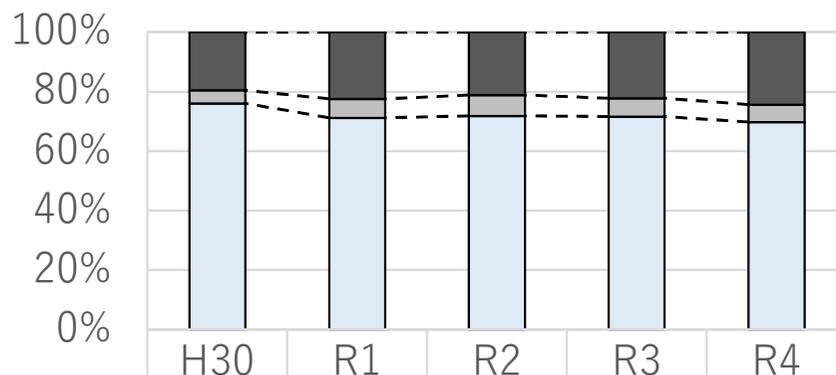
■ 精検未把握率	21.4%	22.9%	20.6%	21.8%	21.6%
■ 精検未受診率	3.0%	3.6%	4.8%	3.8%	3.1%
□ 精検受診率	75.5%	73.6%	74.6%	74.3%	75.3%

個別検診 令和4年度 要精検者数 3,228人 (49%)



■ 精検未把握率	16.6%	21.7%	21.8%	22.8%	27.4%
■ 精検未受診率	6.6%	10.9%	9.6%	9.4%	8.8%
□ 精検受診率	76.9%	67.3%	68.6%	67.8%	63.9%

集団個別計 令和4年度 要精検者数 6,644人 (100%)



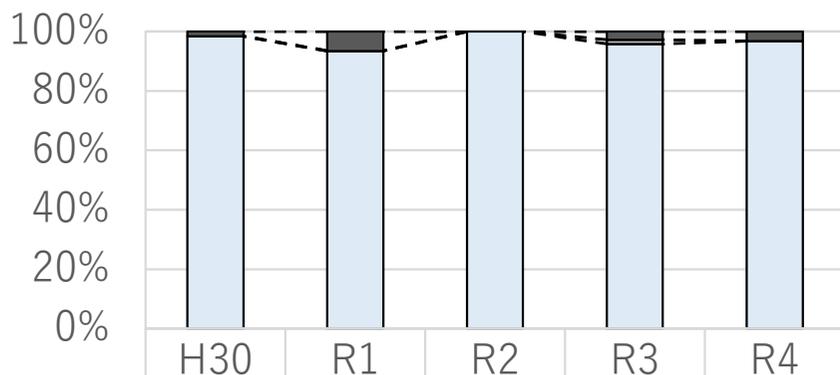
■ 精検未把握率	19.6%	22.4%	21.1%	22.2%	24.4%
■ 精検未受診率	4.4%	6.3%	7.1%	6.2%	5.9%
□ 精検受診率	76.0%	71.2%	71.8%	71.6%	69.8%

- 要精検者数は個別検診(49%)と比べて集団検診(51%)の方がやや多い。
- 集団個別計・個別検診では令和元年度に精検未受診率と精検未把握率が上昇、精検受診率は低下し、その後は横ばいで推移していたが、令和4年度に精検未把握率が増加
- 集団検診の数値は概ね横ばいで推移している。

4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

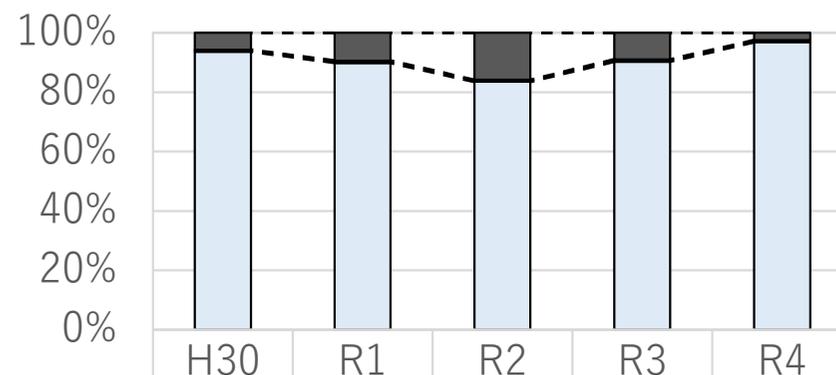
（5）精検受診率・精検未受診率・精検未把握率 胃がん検診（内視鏡検査）

集団検診 令和4年度 要精検者数 189人（2%）



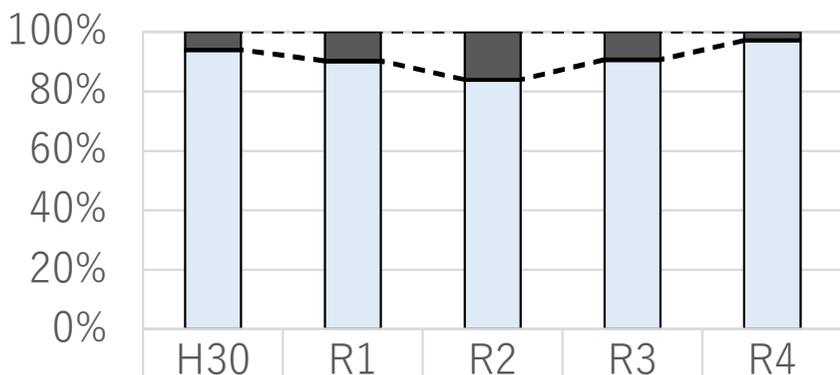
	H30	R1	R2	R3	R4
■ 精検未把握率	1.5%	6.5%	0.0%	2.8%	3.2%
■ 精検未受診率	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%
□ 精検受診率	98.5%	93.5%	100.0%	95.8%	96.8%

個別検診 令和4年度 要精検者数 7,665人（98%）



	H30	R1	R2	R3	R4
■ 精検未把握率	5.7%	9.4%	15.8%	9.0%	2.5%
■ 精検未受診率	0.7%	0.8%	0.6%	0.7%	0.7%
□ 精検受診率	93.6%	89.8%	83.5%	90.3%	96.8%

集団個別計 令和4年度 要精検者数 7,854人（100%）



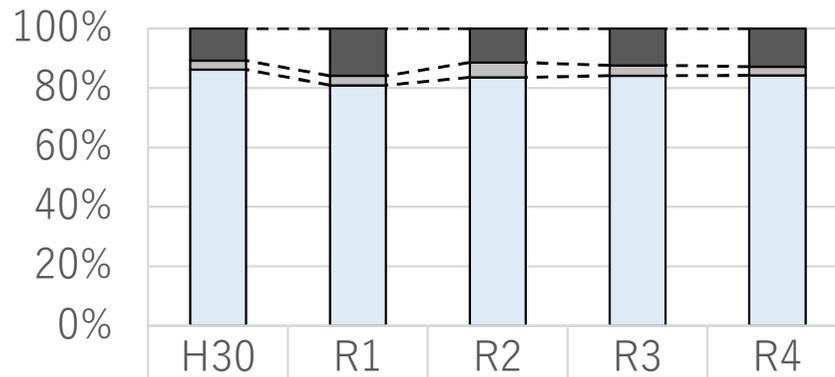
	H30	R1	R2	R3	R4
■ 精検未把握率	5.7%	9.4%	15.7%	8.9%	2.5%
■ 精検未受診率	0.7%	0.8%	0.6%	0.7%	0.7%
□ 精検受診率	93.7%	89.8%	83.7%	90.3%	96.8%

- 胃内視鏡検査の要精検者数の大部分（全体の98%）は個別検診で占められるため、個別検診の傾向が集団個別計に大きく反映される。
- 集団個別計・個別検診ともに令和元年度から令和2年度にかけて精検未把握率が上昇したが令和3・4年度には精検未把握率が低下した。これに伴い令和3・4年度の精検受診率が上昇した。
- 集団検診の精検受診率は90%以上で推移している。

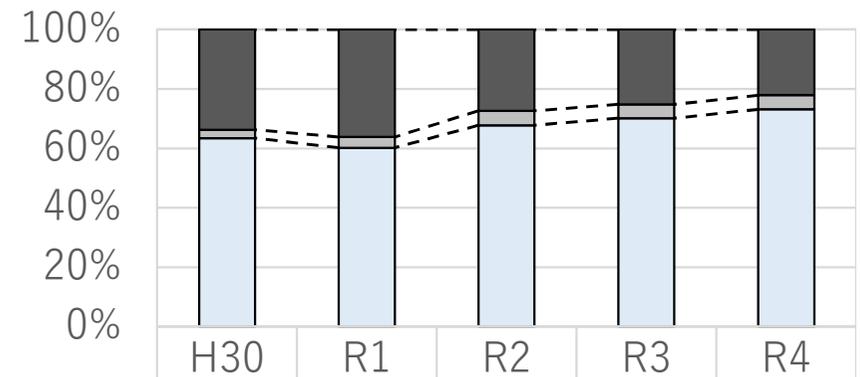
4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

（6）精検受診率・精検未受診率・精検未把握率 肺がん検診

集団検診 令和4年度 要精検者数 1,480人 (13%)

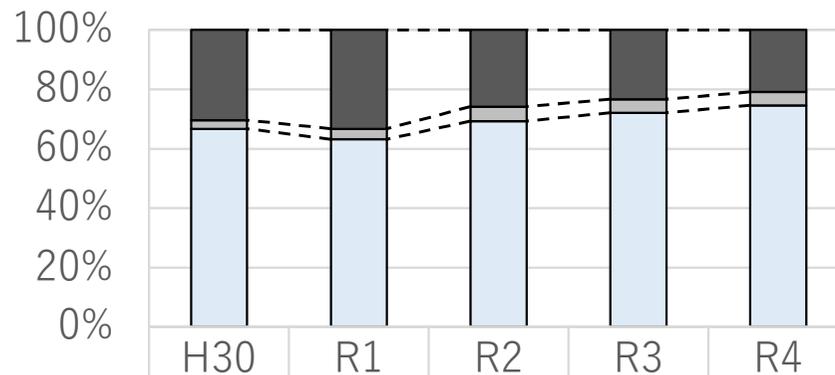


個別検診 令和4年度 要精検者数 9,828人 (87%)



■ 精検未把握率	10.8%	15.9%	11.4%	12.4%	12.8%	■ 精検未把握率	33.7%	36.2%	27.4%	25.2%	22.1%
▒ 精検未受診率	3.0%	3.2%	5.0%	3.5%	3.0%	▒ 精検未受診率	2.8%	3.6%	4.9%	4.7%	4.8%
□ 精検受診率	86.2%	80.9%	83.6%	84.1%	84.3%	□ 精検受診率	63.4%	60.2%	67.7%	70.1%	73.1%

集団個別計 令和4年度 要精検者数 11,308人 (100%)



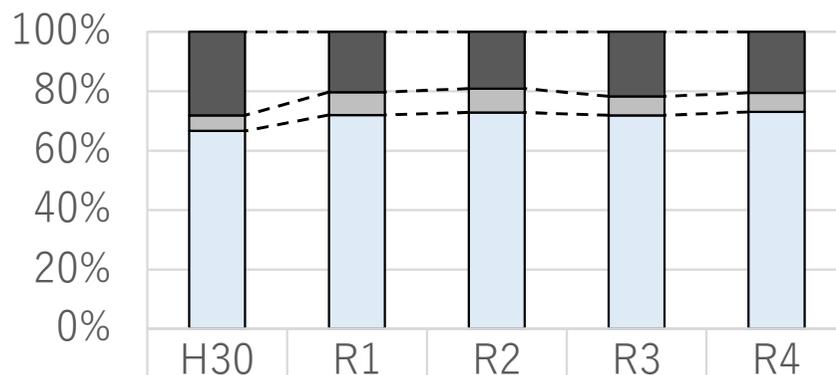
■ 精検未把握率	30.4%	33.3%	25.8%	23.4%	20.9%
▒ 精検未受診率	2.9%	3.6%	4.9%	4.5%	4.5%
□ 精検受診率	66.7%	63.2%	69.3%	72.1%	74.6%

- 肺がん検診の要精検者数の大部分（全体の87%）は個別検診で占められるため、個別検診の傾向が集団個別計に大きく反映される。
- 集団個別計・個別検診ともに平成30年度から令和元年度にかけて精検未把握率が上昇し、精検受診率が低下したが、令和4年度にかけて精検未把握率は改善、精検受診率は上昇している。
- 集団検診の精検受診率は概ね80%以上で推移している。

4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

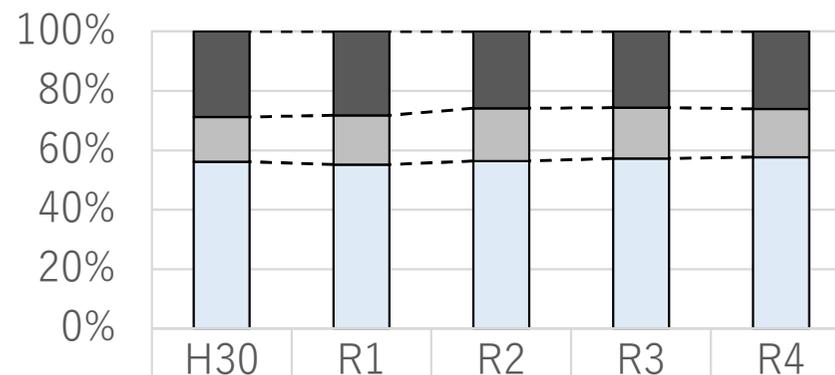
（7）精検受診率・精検未受診率・精検未把握率 大腸がん検診

集団検診 令和4年度 要精検者数 5,101人（7%）



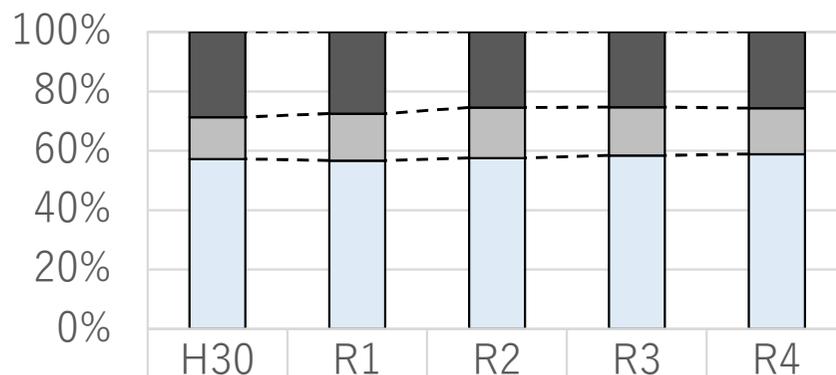
■ 精検未把握率	28.1%	20.3%	19.1%	21.7%	20.6%
■ 精検未受診率	5.2%	7.7%	8.1%	6.4%	6.4%
□ 精検受診率	66.7%	72.0%	72.8%	71.9%	73.0%

個別検診 令和4年度 要精検者数 63,169人（93%）



■ 精検未把握率	28.7%	28.2%	25.9%	25.6%	26.0%
■ 精検未受診率	15.1%	16.5%	17.8%	17.1%	16.2%
□ 精検受診率	56.2%	55.2%	56.4%	57.3%	57.7%

集団個別計 令和4年度 要精検者数 68,270人（100%）



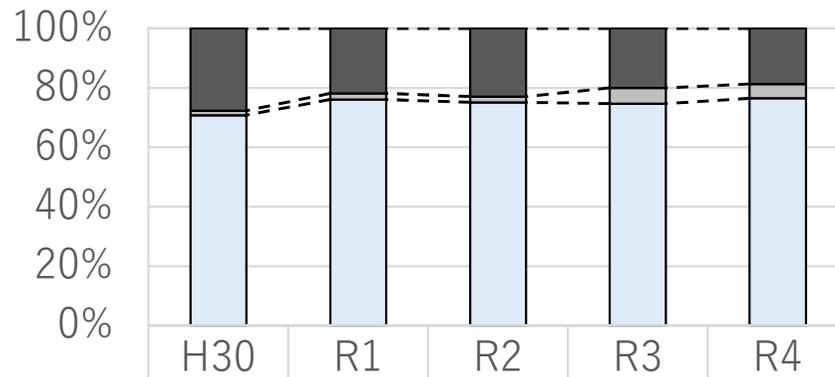
■ 精検未把握率	28.7%	27.5%	25.4%	25.3%	25.6%
■ 精検未受診率	14.1%	15.8%	17.1%	16.3%	15.5%
□ 精検受診率	57.2%	56.7%	57.5%	58.4%	58.9%

- 大腸がん検診の要精検者数の大部分（全体の93%）は個別検診で占められるため、個別検診の傾向が集団個別計に大きく反映される。
- 集団個別計・個別検診ともに精検未把握率は緩やかに低下、精検受診率は緩やかに上昇しており、令和4年度の精検受診率は過去5年間の中で最も良好な数値であった。
- 精検未受診率は上昇傾向が続いていたが、令和3年度からわずかに低下傾向にある。

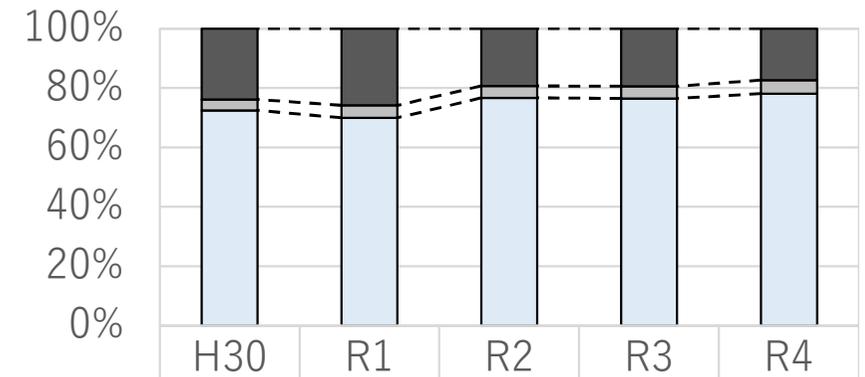
4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

（8）精検受診率・精検未受診率・精検未把握率 子宮頸がん検診

集団検診 令和4年度 要精検者数 251人（2%）

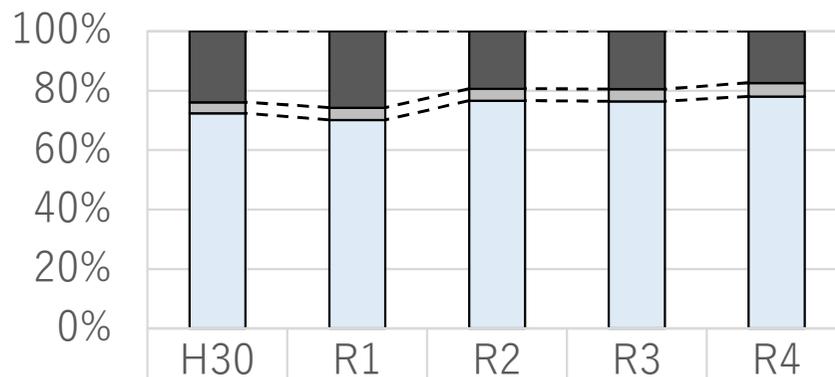


個別検診 令和4年度 要精検者数 10,267人（98%）



■ 精検未把握率	27.7%	21.9%	23.0%	20.1%	18.7%	■ 精検未把握率	23.8%	25.8%	19.3%	19.4%	17.3%
■ 精検未受診率	1.5%	2.1%	2.0%	5.2%	4.8%	■ 精検未受診率	3.8%	4.2%	4.0%	4.1%	4.5%
□ 精検受診率	70.8%	76.0%	75.1%	74.7%	76.5%	□ 精検受診率	72.4%	70.0%	76.7%	76.5%	78.1%

集団個別計 令和4年度 要精検者数 10,518人（100%）



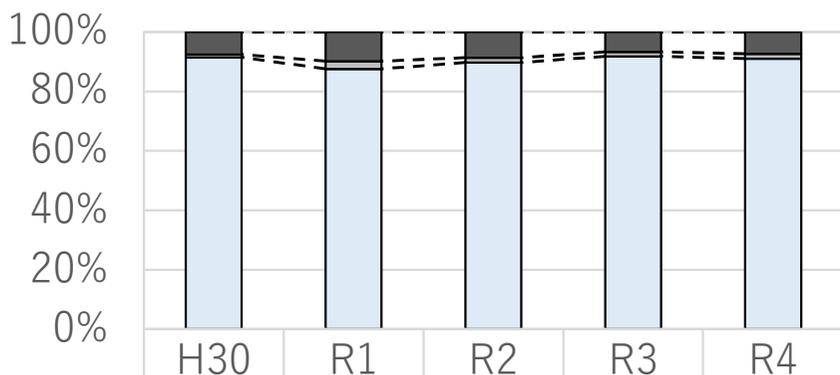
■ 精検未把握率	23.9%	25.7%	19.4%	19.5%	17.4%
■ 精検未受診率	3.7%	4.1%	4.0%	4.1%	4.6%
□ 精検受診率	72.4%	70.1%	76.6%	76.4%	78.1%

- 子宮頸がん検診の要精検者数の大部分（全体の98%）は個別検診で占められるため、個別検診の傾向が集団個別計に大きく反映される。
- 集団個別計・個別検診ともに令和元年度から令和2年度、令和3年度から令和4年度にかけて精検未把握率が低下し、精検受診率が上昇した。
- 集団検診は令和3年度から令和4年度にかけて精検未把握率が低下し、精検受診率が上昇した。

4 過去5か年推移（東京都・全年齢）

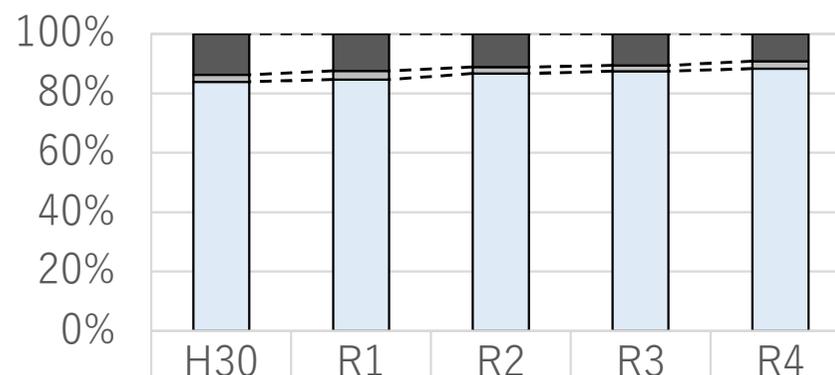
（9）精検受診率・精検未受診率・精検未把握率 乳がん検診

集団検診 令和4年度 要精検者数 2,668人 (13%)



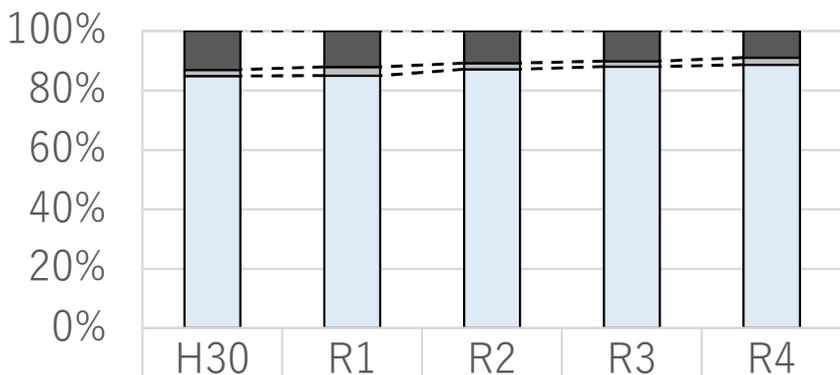
■ 精検未把握率	7.6%	9.8%	8.6%	6.7%	7.3%
■ 精検未受診率	0.9%	2.6%	1.6%	1.5%	1.6%
□ 精検受診率	91.5%	87.6%	89.7%	91.8%	91.1%

個別検診 令和4年度 要精検者数 17,294人 (87%)



■ 精検未把握率	13.8%	12.5%	11.1%	10.6%	9.2%
■ 精検未受診率	2.3%	2.9%	2.2%	1.9%	2.5%
□ 精検受診率	83.9%	84.6%	86.7%	87.4%	88.3%

集団個別計 令和4年度 要精検者数 19,962人 (100%)



■ 精検未把握率	13.0%	12.1%	10.8%	10.1%	9.0%
■ 精検未受診率	2.1%	2.9%	2.1%	1.9%	2.4%
□ 精検受診率	84.9%	85.0%	87.1%	88.0%	88.7%

- 乳がん検診の要精検者数の大部分（全体の87%）は個別検診で占められるため、個別検診の傾向が集団個別計に大きく反映される。
- 集団個別計・個別検診は精検未把握率が経年的に低下、精検受診率は経年的に上昇し、令和4年度は過去5年間の中で最も良好な数値であった。
- 集団検診の精検受診率は90%前後で推移している。